

《総会次第》

開会の挨拶

議長選出

会長挨拶

議 案

【第1号】平成23年度事業報告について

【第2号】平成23年度決算報告について

【第3号】会計監査報告

【第4号】平成24年度事業計画（案）について

【第5号】平成24年度予算（案）について

【第6号】役員を選出について（理事の変更）

その他

議長退任

閉会の挨拶

総会終了後、引き続き祝賀会を行います。懇親会の会場づくりにご協力下さい。

はじめに

昔々から、雄物川水系沿いの村々では「鹿嶋祭り」「鹿嶋流し」「鹿嶋様」と呼ばれるお祭りが行われてきました。ここ新屋町の「鹿嶋祭り」は400年の歴史を誇ると言われており、5月の端午の節句に行われてきました。小さな笹巻きを首にかけた鹿嶋人形が鹿嶋船に乗せられて、「鹿嶋大明神」「家内安全」の五色の吹流し旗を数多く刺しながら街並みを練り歩き、鎮守の杜、日吉神社を目指して20余隻もの鹿嶋船が繰り出して、子供らの元気な歌声と太鼓の音が響きわたります。

平成23年11月20日、「新屋鹿嶋祭保存会設立総会」を開催され、新屋鹿嶋祭に参加する町内会長（20町内会）及び栗田養護学校、そして保存会に賛同する有志を含む44名で「保存会」が発足しました。その後会員を拡大し、新屋郷土会の会員（関東在住者2名）を含む57名が入会しています。

総会では、「文化財愛護精神に基づき、新屋の伝統行事である新屋鹿嶋祭の調査研究、保存顕彰並びに継承者の育成を目的とし、永く正しくこれを後世に伝承することを目的とする」と明記しました。

保存会役員には、伊藤富美雄氏を初代会長に選出し、参加町内会長を三役又は理事に就きました。役員には保存会の牽引的役割を果たしながら、同時に各町内会で保存会の存在と活動を支えながら、会員拡大に努めていくことにしました。準備会から発足総会、さらに今日まで鹿嶋船の奉納神社である日吉神社・石澤千秋宮司及び総代役員からは、様々なご指導、ご尽力を賜りましたことに改めて感謝します。

新屋鹿嶋祭の運営は当番町とされる町内持ち回りの当番制で行われていますが、この伝統行事を新屋地域の文化的財産としてどう継承・発展させて行くのか、時代の流れと共に変化も生じており、鹿嶋祭に関する諸課題を協議する共通の機会が求められておりました。

本年6月10日、保存会が発足してから初めての鹿嶋祭を迎えることができました。保存会には5つの各専門部会を設けて課題別に活動を行ってきました。今後、鹿嶋祭に関する資料、文献、データなど収集に努めながら、鹿嶋祭の昔と今を把握して、これからの鹿嶋祭及び保存会の様々な取り組みしてまいります。そのためにも会員全体が相互の親睦を深めながら、保存会の存在意義を認識し、新屋地域の歴史と文化を支え合う保存会の活動を意思統一できる総会になることを期待します。

【第1号】平成23年度事業報告について

(1) 活動の足跡

平成23年

- 11月20日(日) 新屋鹿嶋祭保存会設立総会(第1回総会)及び祝賀会
- 11月23日(祝) 新屋振興会「新屋衆報」掲載原稿届け
- 12月2日(金) 第10回準備会会議(解散会、総会総括、資料の整理など)

平成24年

- 1月1日 新屋振興会「新屋衆報」保存会発足報告文掲載
- 1月7日 新屋振興会新年会出席(伊藤会長、藤枝総務)
- 1月10日 「鹿嶋さん」第1号発行(会員宅配布、郵送)
- 1月21日 新屋郷土会新年会(赤坂市議・保存会理事、高橋伸理事)
- 2月6日 三役会議(会長、副会長、総務)
- 2月19日 会員全体会議及び新年会
- 3月3日 市営住宅町内会鹿嶋太鼓の練習視察(藤枝総務)
「鹿嶋さん」第2号発行(会員宅配布、郵送)
- 3月28日 調査研究部会会議
- 4月13日 広報部会会議
- 4月15日 製作部会会議
- 4月17日 事業部会会議
- 5月5日 「鹿嶋さん」第3号発行(会員宅配布、郵送)
- 5月10日 三役及び各部会部長・副部長合同会議
- 5月13日 鹿嶋祭全町打合せ会議(当番町 緑町町内会)
- 6月10日 鹿嶋祭
「鹿嶋さん」第4号発行(400枚を各町内鹿嶋参加者、見物人に配布)
- 6月25日 事業部会会議
- 7月9日 製作部会会議
- 7月13日 三役及び各部会部長・副部長合同会議
- 7月15日 「鹿嶋さん」第5号発行(会員宅配布、郵送)
- 7月18日 収支決算及び会計監査
- 7月22日 勝平地区郷土の歴史と民話講演会(新屋鹿嶋祭保存会活動報告藤枝総務)

(2) 主な会議と取り組みの経過

1、 三役会議

保存会の中心的な役割を認識しながら、三役会議及び各部長・副部長会議を以下の日程で開催してきました。

日 時 2月 6日 (月) 18:00

会 場 日吉神社会館

出席者 会長、副会長、総務、総務会計

議題と討議内容

- ① 総会議事録の確認
- ② 保存 会加入用紙について
- ③ 会員全体会議の開催について
- ④ 平成23年度事業計画スケジュールについて
- ⑤ 各専門部会の開催について
- ⑥ 部会長・副部会長の選任について
- ⑦ 鹿嶋祭の歌、太鼓の共通認識について
- ⑧ その他

以上について討議し「会員全体会議」に向けた準備を行いました。

2、 会員全体会議

日 時 2月19日 (日) 15:00

会 場 日吉神社会館

出席者 全会員

議題と討議内容

- ① 保存会入会案内と加入用紙について
- ② 平成23年度事業計画スケジュールについて
- ③ 各専門部会の主な活動内容と具体化について
- ④ 会員の所属部会と部会長・副部会長の選任について
- ⑤ 鹿嶋祭の歌、太鼓の会員練習日の設置について
- ⑥ 鹿嶋祭に関する資料収集について
- ⑦ その他

平成24年2月19日初めて「会員全体会議」を開催しました。伊藤富美雄会長から「保存会の会員も50名を数え、今日の全体会議で保存会の事業計画と部会の活動内容を具体的に検討していただきたい。秋田市のねぶり流し館に勝平鹿嶋祭保存会の船が展示されており、資料も展示されていた。我々の保存会も鹿嶋祭の歴史を研究し後世に正しく伝えていくため努力したい」と挨拶がされました。

新屋鹿嶋祭の保存及び伝承をはかるため、鹿嶋祭の過去・現在に至るまでの調査・研究を重ねることを事業の柱としながら、課題別に活動を進めていくために「事業部」「広報部」「調査研究部」「製作部」「実技部」の5部会を設置しました。具体的には「組織図」で専門部会の任務、活動目標など示しました。その後の部会会議によって細部の課題別テーマなど討議され部長、副部长など決めあいました。

保存会で、鹿嶋祭の「歌」「太鼓」の歌唱指導をはじめ、各町内会への鹿嶋囃子の指導に出向くほかデモテープ制作など確認しました。また、鹿嶋祭りに関する資料、文献、写真収集を行いながら調査研究活動をすすめる、「資料写真展」「鹿嶋祭りの今昔を語る会」などの開催を確認しました。部会所属については、「様々な方法で保存会を応援したい」と入会希望する方々もおり、部会所属を加入条件としないことも確認されました。まとめとして石澤千秋副会長（日吉神社宮司）から「保存会の方向性が見えてきた。伝統行事の保存と継承活動に向けて会員拡大をお願いします」と締めくくりました。

3、第1回三役及び各部長・副部长合同会議

日 時 5月10日（木）18:00

会 場 西部市民サービスセンター

出席者 三役、各専門部部長、副部长

議題と討議内容

- ① 各部会報告
- ② 今年度鹿嶋祭に向けた各部の取り組み
- ③ 第2回定期総会について
- ④ その他

各専門部会からの年間活動計画について、及び今年度鹿嶋祭についての取り組みを討議しました。各部会の討議では、今年の鹿嶋祭に対する保存会のかかわり方や取り組みなど期待する意見が多く出されました。「鹿嶋船、搭載物などの審査会や一同に集めての展示会」「各町内からの鹿嶋船、人形などの写真を提供してもらっての写真コンクール」「鹿嶋祭に関する講演会、語る会などの開催」「看板、ポスター、案内リーフレットの作成と配布」など要望が出されていました。詳しくは別紙「各部会会議から出された意見・要望について」を参照下さい。

しかし、鹿嶋祭までの時期、時間的に可能な取り組みであるのか、各専門部又は保存会として実践出来るまでの討議や役割分担が可能なのか、財政的な裏付けがあるのか、参加町内会に要請可能かなど検討した結果、今年度は各町内に対して「調査アンケート」と写真提供をお願いすることにしました。

その内容は、鹿嶋祭保存会から各町内会長宛に文書（保存会発信文書1）で要請しました。また、保存会会員にも別紙（保存会発信文書2）の内容で今年の鹿嶋祭の取り組みについて連絡文書を発しました。

4、第2回三役及び各部長・副部長合同会議

日 時 7月13日(金) 18:30

会 場 日吉神社会館

出席者 三役、各専門部部長、副部長

議題と討議内容

- ① 今年度の鹿嶋祭を振り返って
- ② 当番町・緑町町内会から特別報告
- ③ 「調査アンケート」及び写真提供の集約状況
- ④ 第2回定期総会について
- ⑤ 各部の総括・方針案について
- ⑤ その他

三役及び5部会の部長、副部長の合同会議を開催しました。7月29日第2回定期総会を控えて、①今年の鹿嶋祭を振り返っての反省、②各町内アンケートと写真提供について、③定期総会議案討議と総会次第、④各部会の活動経過と次年度の活動方針について話し合いました。また会計に関する事項では、収支経過と予算案について報告され、活動可能な予算化にむけて会員の拡大と理事(町内会長)の個人会員化を呼びかけしていくことが確認されました。

【第2号】平成23年度決算報告について

平成23年11月20日～平成24年6月30日

収入総額 120,002円
 支出総額 65,076円
 差引総額 54,926円

収入

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	0	0		
負担金	63,000	66,000	3,000	3000円×21町内会及び学校、神社
会費	50,000	47,000	△3,000	10,000円×1名3,000円×2名2,000円×2名1,000円×27名
寄付金	0	7,000	7,000	
雑収入	0	2	2	利子
合計	113,000	120,002	7,002	

支出

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	30,000	20,728	△9,272	総会費、理事会等
事務費	30,000	27,850	△2,150	印刷、通信等
部会活動費	50,000	12,898	△37,102	
予備費	3,000	3,600	600	鹿嶋当番町へのお祝酒
合計	113,000	65,076	△47,924	

【第3号】会計監査報告

平成24年7月¹⁸~~11~~日、鹿嶋祭保存会の関係諸帳簿、及び貯金通帳等証拠書類について監査の結果、いづれも適正に処理されていることを認めます。

新屋鹿嶋保存会会計監事

小野良治 (印)
 渡邊寛一 (印)

平成24年7月¹⁸日

新屋鹿嶋保存会
 会長 伊藤 富美雄 殿

【第4号】平成24年度事業計画（案）について

1、会員拡大と豊富な活動可能な財政の確立に向けて

平成24年7月29日現在の会員は別紙「新屋鹿嶋祭保存会会員名簿」のとおり 名です。栗田養護学校及び鹿嶋祭参加20町内会、及び新屋郷土会から2名が参加しています。

今後のさまざまな課題と持続可能な活動を裏付けるものに人的結集と財政基盤の確立が欠かせません。したがって次のことを目標に参加町内会（理事）のご理解とご協力を要請します。

- (1) 鹿嶋祭参加町内会から選出されている理事（町内会長または代表者）の個人会員化。
- (2) 各町内は5人以上の会員拡大を目標にする。（20町内×5人＝100人目標）
- (3) 個人会員の複数加入を目標とする。

2、三役、部会議（部活動）、理事会の開催について

初年度は発足して一年目の保存会活動であり手探りの事業運営と活動でありました。2年目の保存会活動は鹿嶋祭に参加する新屋町民にカタチとして見えるものでアピールできる活動を展開します。そのためにも次の取り組みを行います。

- (1) 保存会の事業運営においては三役（会長・副会長・総務・会計）会議を開催し、組織の健全・適切な組織運営と活動を遂行します。
- (2) 必要な都度理事会を開催します。
- (3) 保存会の柱である5つの専門部会（事業部、広報部、調査研究部、製作部、実技部）を活発なものとして運営を図りながら、課題別テーマにむけて活動を展開します。また、必要な場合は共同作業で事業を活発に行っていきます。

3、「調査アンケート」集約と提供写真の活用について

鹿嶋祭を終えた今、私の手元には各町内、学校から調査アンケートの回答、鹿嶋船の写真が続々と寄せられております。鹿嶋船を見比べてみると荷車、舳先、ガジキ、帆柱、短冊の飾りつけなど特徴があります。また、鹿嶋人形の表情には凛とした勇ましさや愛嬌と味わいが感じられ、搭載物のキャラクターは時代と世相を反映したメッセージ性とこだわりが見て取れます。

これら提出された資料、写真などは、今後の保存会活動の貴重な財産として活かしていくと同時に、「講演会」「写真展」などに十分に活用出来るデータです。各町内会の力作である鹿嶋船を改めてご覧になりながら鹿嶋祭を「語り合う交流の場」を設けていきます。

そのほか「保存会」では、鹿嶋船コンクールや審査会、鹿嶋船の展示場の設置、会報「鹿嶋さん」発行、鹿嶋祭ポスター作成、保存会のホームページ開設、鹿嶋の歌と太鼓の練習などさまざまな取り組みを実践可能なものから始めていきます。

祭典のアンケート、写真をどのように活用していくのか、または公開していくのか楽しみな反面、これまた大変な作業となります。事業部、調査研究部、製作部の三者間で協議しながら、「講演会」「写真展」などを開催し利用していきます。ご意見ありましたらお願いします。

平成24年度事業計画スケジュール表

新屋鹿嶋祭保存会

年	月	日	曜日	事業内容
平成24年	7月～	29日	日	第2回定期総会
	8月～10月			<ul style="list-style-type: none"> ○第1回三役会議(部会合同会議) ○各部会議 ・部長・副部長などの選出 <ul style="list-style-type: none"> ・会員の部会所属の把握 ・各部年間計画と活動の具体化 ○「講演会」「写真展」「語る会」などの企画・開催 ○会員拡大の目標設定と勧誘行動 ○「鹿嶋さんニュース」定期発行(年4回)
	11月～12月			<ul style="list-style-type: none"> ○第2回三役会議(部会合同会議) ○会員全体会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・各部活動の交流 ・地域活性化づくり交付金に向けて ○忘年会
平成25年	1月～3月			<ul style="list-style-type: none"> ○新年会 ○新屋郷土会新年会(東京) ○当番町との懇親会 ○鹿嶋祭に向けての取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化づくり交付金に向けて ・ポスター作成、鹿嶋囃子、歌指導、その他
	4月～6月			<ul style="list-style-type: none"> ○第3回三役会議(部会合同会議) ○理事会 ○鹿嶋祭に向けての具体的な準備(鹿嶋祭での取り組み) ○会員拡大の目標設定と勧誘行動(町内会総会) 6月9日鹿嶋祭 ○他地区の鹿嶋祭視察
	7月～			<ul style="list-style-type: none"> ○第4回三役会議(部会合同会議) ○理事会 新屋鹿嶋祭保存会第3回定期総会

【第5号】平成24年度予算（案）について

平成24年7月1日～平成25年6月30日

収 入

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
繰越金	54,926	0	△54,926	
負担金	66,000	63,000	△3,000	3000円×21町内会及び学校、神社
会 費	50,000	50,000	0	1000円×50名
寄付金	0	0	0	
雑収入	5	0	△5	利子
合 計	170,931	113,000	△57,921	

支 出

項 目	予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
会議費	40,000	20,728	△19,272	総会費、理事会等
事務費	40,000	27,850	△12,150	印刷、通信等
部会活動費	80,000	12,898	△67,102	
予備費	10,931	3,600	△7,326	
合 計	170,931	65,076	△105,855	

【第6号】役員を選出について（理事の変更）

町内会長の交代に伴い理事に変更が生じておりますので発表してご承認をいただきます。